



本学が「指定国立大学法人」に指定される



指定国立大学法人構想概要

本学は、3月20日、文部科学大臣より、世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる大学として「指定国立大学法人」に指定されました。

指定国立大学法人は、国際的な競争環境の中で、世界の有力大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に与えた影響と取組の具体的成果を

積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/info/20180320.html>



特定基金「医学系未来人材育成支援事業」の寄附者懇談会を開催 ■医学部



懇談会の様子

鶴舞キャンパスにおいて、特定基金「医学系未来人材育成支援事業」の寄附者懇談会を初めて開催しました。本懇談会の趣旨は、昨年、本事業に一定額以上寄附された篤志家の方々を招き、直接「謝意」を伝えることです。懇談会では、感謝状贈呈式、医学部への意見等をいただくための懇談、寄附

者銘板の除幕式を挙行了しました。会は、終始和やかで、かつ厳かな雰囲気の中進められ、寄附者からは、「このような催しを開催いただき大変感謝します」との言葉がありました。門松研究科長からは、本事業への継続的支援の依頼があり、盛会のうちに終了しました。



防災専門図書館と連携協力協定を締結 ■減災連携研究センター



協定締結の様子（右：福和センター長、左：矢野司書・学芸員）

減災連携研究センターは、公益社団法人全国市有物件災害共済会防災専門図書館と連携協力協定を締結しました。福和本センター長と矢野陽子防災専門図書館司書・学芸員との間で協定書を取り交わし、今後の協力体制について協議しました。防災専門図書館は昭和31年に開設され、台風や地震等

の自然災害のほか、火災や事故等様々な災害やその対策に関する約16万冊の資料を所蔵しています。協定締結により、災害図書相互利用や、レファレンス協力、展示を目的とした資料貸出等、広範な協力が可能となり、本センターは今後、減災教育の拠点としてより強化されます。



第4回教育基盤連携本部セミナーを開催



セミナーの様子

第4回教育基盤連携本部セミナーを、文系総合館カンファレンスホールにおいて開催しました。今回は、教育関係共同利用拠点「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」として、昨年8月に文部科学省の認定を受けた高等教育研究センターと共同で実施しました。「教育の質保証と教職員の能力開発」を

テーマに、渡邊 聡広島大学副学長が「教育の質保証に向けた執行部と教職員の協働」、米澤彰純東北大学インスティテューショナル・リサーチ室室長が「教育の質保証を促す大学のガバナンスとIRの役割」と題した講演を行いました。参加者は熱心に耳を傾け、セミナーは盛況のうちに終了しました。